

# 能 光の素足

## 講演 賢治の世界観

### 能「光の素足」について

周りに受け入れられないとか、未来に希望が見えないとか、現在はとりわけ若い人の苦しみが増しているように思います。自分もそういう苦しい思いをしながら、でも世界や人間は素晴らしいのだ、どんな人にも輝きがあるのだと、「世界が全体幸福に」なることを夢見た人がいました。100年前に東北に生きた宮澤賢治さんです。

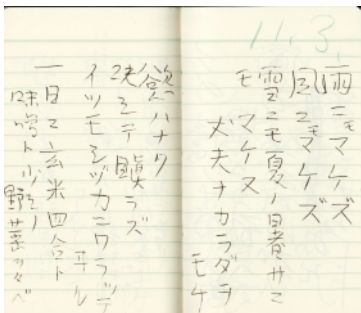
能は650年くらい前に世阿弥さんが始めた芸能ですが、自然の営みの中で生きる人間の力や波動の確かさを、とても良く伝えてくれます。賢治さんの言葉の力を世阿弥さんの方法で表現してみたのがこの作品です。

始めに登場する少年は、山中でひとり剣舞（けんばい）を舞っています。躍動感と裏腹に孤独の陰を帯びています。年老いた山人が突然現れて声をかけ、少年の鬨りに光を当てて行きます。助けを求める少年に自分の力で乗り越えなければならないと説いた山人は、その夜の再会を約束して姿を消します。

舞台は一転して銀河の星の世界です。童話「ふたごの星」の物語をポオセ童子とチュンセ童子が再現します。

そして再び下界に戻り、少年一郎は支度を整えて夜の山に向います。銀河の流れる美しい夏の空に流れ星があるかと思える間に、遙か彼方から金色の光が満ちて光の素足が現れます。この大きな人は賢治さんの言葉を少年に伝えます。やがて一郎は光の素足の力を受け取り、気がつけば元の丘の上に目を覚まします。

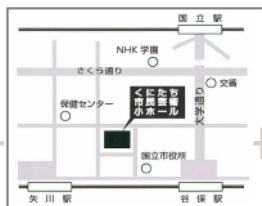
その言葉の中に「雨二モ負ケズ」が出て来ます。賢治さんがこれを書いた手帳の傍らには「11.3」と記されています。もしこれが11月3日を表すのであれば、この公演はそれから85年目の出来事となります。



### ■ 会 場 ■

#### くにたち市民芸術小ホール

〒186-0003 国立市富士見台 2-48-1  
Tel 042-574-1515  
Fax 042-574-1513  
E-mail : kugeisyo@chive.ocn.ne.jp



● J R 中央線国立駅南口バス乗場：4番

立川バス矢川駅、国立操車場又は国立泉団地行き

『市民芸術小ホール・総合体育館前』下車徒歩1分

● J R 南武線矢川駅から徒歩10分

● J R 南武線谷保駅から徒歩10分

● 専用駐車場はありません。公共の交通機関でお越しください。

なかしよのぶお

### 中所 宜夫 プロフィール

能楽師・観世流シテ方。観世九阜会所属。重要無形文化財総合指定保持者。

名古屋生まれ。謡曲を趣味とする父の影響で、子供の頃より能に親しみ、大学のクラブ活動を経て能の道を志し、在学中より観世喜之師の内弟子となる。平成9年『道成寺』17年『安宅』25年『翁』26年『砧』を披く。「中所宜夫能の会」を主宰し、古典作品の演能の他、寺の本堂やギャラリーなど能楽堂以外の空間での小規模公演「能楽らいぶ」を行い、その活動の中から異分野との共同作品や新作能を創作する。二松学舎大学特任教授。日本映画大学非常勤講師。東京あきる野市在住。西多摩を中心に東京、愛知、岐阜などで謡曲仕舞を指導。その他一日体験教室や能についての講座を各地で行う。

みやざわかずき

### 宮澤 和樹 プロフィール

宮澤賢治の実弟・宮澤清六氏の孫。

花巻市の花巻駅近くに、賢治の世界に浸れるスペース（株）林風舎を経営するほか、賢治の精神や作品を後世に伝えるため、講演会や作品展示会などで全国で活躍中。林風舎では賢治の作品や賢治愛用の楽器や手帳などを展示。1Fフロアでは賢治の作品をモチーフとしたグッズを販売。2Fフロアは喫茶室で、ゆったりとした賢治の世界に浸ることができる。毎週日曜日にはクラシックやジャズのミニコンサートを開催。

### ■ 関連事業 ■

#### 講演会「能『光の素足』について」

10月14日（金）19：00より約1時間

会場＝くにたち市民芸術小ホール地下スタジオ

作者の中所宜夫が、室町時代から続く能の歴史の中で、新作能をつくる意味などをお話します。

お申込み＝7月26日（火）から電話で受付（当館休館日を除く）

☎ 042-574-1515

※ 定員 70 名に達し次第締切

参加費 = 300 円 ※当日受付時にお支払いください

※11/3 公演チケットご持参の方は無料

#### 映画会「世阿弥の能」（平成3年製作・DVD上映・49分）

8月30日（火）

第1回 10：30 上映 | 第2回 14：00 上映 | 第3回 19：00 上映

会場＝くにたち市民芸術小ホール地下スタジオ

世阿弥の代表的な能作品の舞台を取り上げ、特色を紹介しながら謎めいたその生涯に迫ります。

入場料無料 ※当日上映30分前から整理券配布

※定員70名

ご希望者の中から抽選で1回上映につき1名様に11月3日の本公演の招待券を差し上げます。